

## 平成 24 年度 市政運営会議 議事概要

日 時	平成 25 年 2 月 14 日 (木) 17:15～17:40
議 題	少年科学文化会館の移転再整備について
出席者	高島市長, 渡邊副市長, 大野副市長, 総務企画局長, 財政局長, こども未来局長, 住宅都市局長 ほか
決定事項	<p>少年科学文化会館の移転再整備にあたり, 施設整備の方向性を以下及び別紙 1,2 のとおりとし, その実現に向けてUR都市機構と協議していく。</p> <p>(1) 九州大学六本松キャンパス跡地北側ゾーン東側敷地に青少年科学館を整備する。</p> <p>(2) 科学館の整備にあたり, 九州大学六本松キャンパス跡地利用計画 (H19.5 福岡市策定) に示されている商業, 業務, 交流及び居住等の機能と一体的に整備する。</p> <p>(3) 事業費の平準化のため, 施設の一体的整備は民間事業者が実施し, 市は資産(土地・建物)を所有せず, 賃借入居する方向で進めることとする。今後, 民間事業者の意向把握や概算事業費の試算など, 賃借入居の実現可能性を詳細に検討し, 公募の開始までに決定する。</p> <p>また, 九州大学六本松キャンパス跡地への科学館立地を担保するため, 民間事業者による施設の一体的整備ができない場合には, 東側敷地の東半分を市が取得することとする。</p> <p>(4) 建物は民間事業者による整備とするが, 建物内部の科学館部分の諸室の設置や展示物の製作・据付等の内装整備及び管理運営は市が実施することとし, その事業手法は, 民間ノウハウの活用も視野に基本計画で決定する。</p>
主な意見	<p>○ 九大六本松キャンパス跡地においては, 地域拠点にふさわしい都市機能の誘導を図るために, 街区単位での敷地利用を想定した地区計画の策定等を行っており, 施設の一体的整備は望ましいと考える。</p> <p>○ 一体的整備による少年科学文化会館の建替えは, 現在進めている行財</p>

政改革の大きな取組みの一つであるとともに、今後の大規模公共施設の更新における試金石にもなり、福岡市にとって重要な案件である。そのため、アセットマネジメント推進部や住宅都市局と連携を図りながら、一体的整備の実現に確実に取り組む必要がある。

- 内装整備や管理運営についても、新たな科学館が特色と魅力あるものとなるよう知恵や工夫をしっかりと取り入れる必要がある。
- 基本計画策定にあたっては、賃料設定をはじめ諸室構成や展示制作、内装整備、付帯設備及び管理運営費等を含め、総事業費の縮減と平準化に向けた検討を早急に進め、市費負担について財政局との事前協議を行う必要がある。